

届出番号 23B2X00016W00012

機械器具09 医療用エックス線装置及び医療用エックス線装置用エックス線管
一般医療機器 全身画像診断・放射線治療用患者体位固定具 JNDN 40902000

MagniPad / MagniPad Quadra

磁化率補正具 ORRAD-02

取扱説明書

添付文書



(01)04570046000556

操作者及び保守管理責任者へのお願い

- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、製品の近くの見やすい場所に大切に保管してください。

■ はじめに

このたびはオリオン・ラドセーフメディカル（株）のMagniPad/MagniPad Quadra 磁化率補正具をお求めいただき誠にありがとうございます。

本品は、MRI撮影時に目的撮影部位とMRIコイルとの空間に生じた極端な磁化率差を補正し画質を改善することを目的とした固定具（補正具）となっております。

■ 使用上の注意

1. 製品の使用、保守の管理責任は使用者側にあります。貴施設内で本製品及び医療機器の使用を許可された医療従事者の方のみ、ご使用ください。
2. 本品は改造しないでください。
3. 本品の外袋は、撥水性の機能を有しておりますが、水がかからない場所で使用・保管を行ってください。
4. 必ず、ビーズが封入された内袋を外袋に装填し、確実に外袋の開閉部を閉じて使用してください。
5. **外袋は消耗品**となっております。わずかな摩耗や破れなどの劣化が生じた場合は、速やかに交換してください。
6. 本品の廃棄は、プラスチック製品廃棄として十分に注意して取り扱ってください。
7. 故障・損傷した場合は、独自に修理・補修を行わずに当社へご連絡ください。
8. 本品は未滅菌製品です。
9. 洗濯機、乾燥機、脱水機、ドライクリーニングは使用しないでください。
10. 使用前、使用後に本品外袋表面を清拭してください。
11. 本品を配置する時に、患者さんの傷口や損傷のある部位に接触させないでください。
12. 袋の重さにより、被検者が息苦しさ、苦痛が生じていないか確認してください。

■ 保管方法

1. 使用後は必ず清潔にして、保管してください。
2. 高温多湿を避け、極端な温度、湿度の変化がない場所に保管してください。

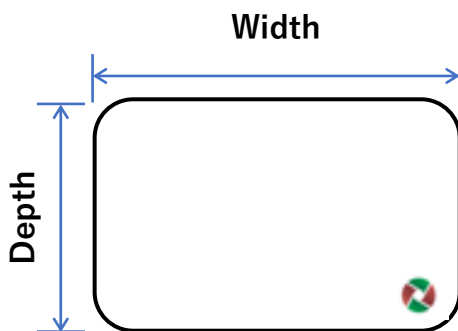
■ 保守・点検に係る事項

1. 使用前には本品表面の汚れ、損傷、縫い目のほつれなどないことを目視にて確認してください。
2. 長期間使用しなかったものを再使用する時には、使用前に必ず正常且つ安全に使用できることを確認してください。

■ 免責事項のご注意

下記事項につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

1. 当社が納入した製品以外が原因で当社の製品が受けた故障・損傷
2. 当社サービスが関与しない、本品の改造・修理等に基づく故障・損傷
3. この取扱説明書に記載されている注意事項や取り扱い方法を守らなかった結果に基づく故障・損傷
4. この取扱説明書に記載されている設置・保管環境など本品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・損傷
5. 火災・地震・水害・落雷・ヘリウム事故等の災害による故障・損傷

【形状】


(mm) ± 10%

MagniPad

サイズ例	個数	Width	Depth	Height
L	3	200	95	20-60
M	1	135	85	15-50
S	1	110	85	15-50
SS	1	100	65	15-50

MagniPad Quadra

サイズ例	個数	Width	Depth	Height
QXL*	1	430	318	10-50
QL*	1	260	195	10-50
QM	1	230	165	10-50
QS	2	195	135	10-50
QSS	1	130	80	10-50

(*)QXL・QLは、内部のビーズが偏らないよう内袋が分けられています。

【構造】

本体各サイズは、それぞれ外袋と内袋の二重構造となっており、プラスチック製のビーズを詰めた内袋を外袋に封入しています。MRIコイルと撮像部位に生じる空間の大きさに合わせて各サイズの本袋を適切に配置する構成となっており、大小さまざまな単体の袋を組み合わせることで、重みを分散し、圧迫感を軽減する効果を生み出しています。

【使用方法等】

1. MRIコイルと目的撮像部位の間に生じるすき間を埋めるために、サイズの異なる袋を適切に配置します。
2. 患者さんに苦痛や息苦しさが生じていないか、極端に圧迫していないかなどを慎重に確認してください。
3. 目的撮影部位近傍に固定されたことを確認後、撮影を開始してください。

MagniPad

頸部領域の撮影例

1. Lサイズを頸部後面に配置します。
2. Lサイズ 2個を両側面に設置します。これにより、両側面のLサイズの重みが患者さんに直接伝わりにくくなります。
3. M、S、SSサイズの中から適切なものを選び、頸部前面に載せます。前面には小さく軽いサイズを使用することで、圧迫感の軽減が期待できます。



【セッティングイメージ】

MagniPad Quadra

四肢領域の撮影例

- QXL～QSSの適切なサイズを四肢目的部位に密着するよう配置します。必要に応じて目的部位を囲むように折りたたむ・巻くなども行ってください。
- 手指撮影では、QSSを軽く握るポジションが効果的です。
- QXLは、胸骨から両鎖骨・肩関節近傍などへの密着も患者さんのサイズによっては可能です。

製造販売元

**オリオン・ラドセーフメディカル株式会社
名古屋本社**

〒490-1205

愛知県あま市花正郷中25番地

TEL 052-449-2670

FAX 052-449-2671

制定日	2025年1月10日	Rev.01
改定日	2025年2月10日	Rev.02
改定日	2025年6月10日	Rev.03
改定日	2025年7月02日	Rev.04
改定日	2026年2月27日	Rev.05